

令和4年度俳句ポスト第一回入選句決定しました。



風流のはじめ館

第一回俳句ポスト

子どもの部 34句

一般の部 6句

子等の声路地を広げて夏つばめ  
須賀川市 御代田ハツ

子の顔に触るるばかりの牡丹かな  
福島市 井上明子

菜の花や一天を指す嬰の指  
須賀川市 関根邦洋

弟をスマホに写す晩夏光  
東京都 高須真尋

ながし吹く貸し傘のある停留所  
東京都 羽生 広

下の川桜うねりの中流る  
須賀川市 渡辺圭子

はなごおりとけてはなびらでていたよ  
須二小1年 武田 雪

てのひらとおなじぐらいのくもがいた  
白江小1年 磯部飛雄

夏のにわ石をわたっておにごっこ  
須二小2年 金子真奈

シャボン玉ふわふわとんでにじになる  
阿武隈小2年 高田淳平

おさんぽでさくらのあめがふってきた  
柏城小2年 鴨居 優

第12号  
令和4年9月号

投句状況

〈第1回〉  
投句者 1,259人  
投句数 5,263句

HAIKU

つららがねくるまのしたにかくれてる

柏城小2年 田中諒祐

カブト虫木につかまってはがれない

長沼東小2年 稲田太陽

夕やけがしずむよ山のおくふかく

白江小2年 鈴木創志郎

七色の花をとじこめ花水

第三小3年 今野雅也

大ぼたんぼくのてよりも大きいな

西一小3年 小屋畑雄斗

うめの花まっ赤な色がゆう気の色

柏城小3年 大山英奈

春風がさくらの手紙おくつてる

柏城小3年 星れのん

すいかわりくずれすいかがおいしいな

白江小3年 磯部璃莉愛

三年目ふではこボロボロ夏休み

白江小3年 藤澤尚飛

夏ざぶとん竹のにおいがほんのりと

須一小4年 有我穂夏

ぱっかりと大口開くほたて貝

須一小4年 遠藤由衣

白さぎのきよろきよろしてる緑の田

第二小4年 橋本茉衣子

夏の夜大三角の星さがす

阿武隈小4年 有我颯翔

いちめんにしんめがでてるわらびとり

柏城小4年 古川優旺

弟のまなざし光るカブトムシ

第一小5年 鈴木恵吾

パンジーがしようこう口を色どるよ

白江小5年 野崎真穂

いな光思いだすのは母のにおい

白江小5年 阿保羅衣渥

かくれんぼすだれのうらで身をひそめ

白江小5年 田村 昊

日が差してとうもろこしは黄金色

須一小6年 大橋 葵

花手水水の中にも光さす

第一小6年 小泉新奈

お盆来るおかえりなさいおじいさん

第二小6年 嘉齊斗亜

花水解けてむらさき皿の上

第三小6年 今野智也

雨の日の太陽のよう鬼灯は

仁井田小6年 五十嵐心

はつ日の出ぼくの家からみる希望

柏城小6年 白石遼羽

せきもり石しっとりぬらす夏の雨

白江小6年 本田 樹

夜の道ふぶきを照らすライトかな

第二中1年 石井悠哉

凍る道歩く親子は笑い合う

第二中1年 満山結愛

初日の出新たな自分へリニューアル

ふたば未来学園中1年 大槻桃子

僕の影にわかに消えし梅雨の午後

小塩江中3年 芳賀絆生



# こども和文化塾

## 夏休みこども俳句教室

第1回

小学1年生  
6年生40名が  
シャボン玉、花水、風鈴：  
夏の季語を探して  
俳句を作りました。

8/3(水)  
8/4(木)



第2回

花火、ひまわり、  
かわいらしい柄の  
浴衣、男の子はきりり  
ときまっています。  
歩き方、立ち方も  
バッチリです

8/20(土)

来年は浴衣で、  
お祭りの夜店に  
お出かけできる  
といいですね。



## ゆかたを 着てみよう

夏休みこども着付け教室



## 俳句出前教室

平成23年から実施している  
市内の児童クラブ館に俳句  
の先生が出向いて、俳句づ  
くりの楽しさを学ぶ俳句教  
室です。



〈参加児童クラブ〉  
かしまの森児童クラ  
うつみね児童クラブ  
白江児童クラブ

## 研修会

福島県の高校文化連盟文芸専門部  
46名7校が参加しました。  
金木犀M七八と夜に光る  
百年の息吹たしかに軒の栗  
晴天に炎が上がる秋彼岸

9/16(金)



松山市で行われた俳句甲子園に  
出場した磐城高校部員より模擬  
試合の披露がされました。



## テーマ展 地域の伝統文化 「江戸小紋を伝えるそのわざ」

開催中 (9/8-10/30)



機械染めが全盛の時代に、手染めでの仕事  
を続ける染工房が須賀川にあります。  
いいものを大切に歴史を背負い、現代も  
なお文化を伝える人の心と技を紹介して  
います。職人魂の凄みが昇華された作品  
は、息をのむほどの圧倒的な存在感が感じ  
られます。



着物は日本の美しい  
伝統文化。とても  
奥が深く楽しい  
ものです。

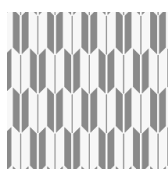
## 言の葉

かんなづき  
神無月

10月の異称。神の  
月(「無」は「の」を  
意味です。

やばね  
矢羽根

秋の七草  
秋の野に咲きたる花を  
指折り かき数ふれば  
七種ななくさの花  
山上憶良



## お知らせ

中秋の名月は、晴れてとても美し  
い月を見ることができました。次  
の満月は10月10日(月・祝)です。  
月あかりの中でむかしばなしを  
ききませんか？

## 月夜の おかしばなし

10/10(月)  
17:30~

